令和５年度 紫原小学校「学校だより」（NO. 7）

つくしんぼ

Tel 251－1323　http://keinet.com/murasas

教育目標　夢と希望を持ち「自立」した紫原の子供を育てる
～あいさつ・掃除が確実にできる子供の育成～

発行日　令和5年11月28日
発行責任者　校長　川畑 敏彦

歴史を紡ぐ～伝統を引き継ぐ～

校長 川畑 敏彦

先日，さつまっ子育成市民大会に参加した際，オープニングで郡山の花尾小学校の子供たちが「岩戸疱瘡踊り」を披露しました。市の無形民俗文化財にも指定されている郷土芸能で，地域の保存会の方々と伝統を引き継ごうと一生懸命踊る姿に感銘を受けました。考えてみると，各地域には様々な伝統行事があり，私がこれまで勤務した所でも，棒踊りや太鼓踊り，御八日踊り等の伝統が脈々と受け継がれていました。

さて，令和6年度は紫原小学校創立60周年の年です。現在，「創立60周年記念事業実行委員会」を立ち上げ，話し合いを進めています。基本的には，創立60周年という節目の年を児童，保護者，地域の方々に広く知ってもらうとともに，感謝の気持ちを育て，お祝いの気持ちを高めることをねらいとしています。そして，地域との連携を図り「地域とともにある学校づくり」の推進を図っていけたらと考えます。

具体的な内容についてはこれから話し合いの中で決まっていきますが，実行委員会では子供たちの思い出に残る取組を実施しようと，スローガンの募集や60周年記念人文字の撮影，バルーンセレモニー，校歌のマスター音源制作，記念コンサート等の案が出され，子供たちの記憶や思い出に残ることができないかと知恵を絞っています。

また，創立60周年を地域にも浸透させ，これを機にまちづくり協議会，あいご会，町内会長会等が地域で行っている行事の精選，見直しを図ることで，今後につながる持続可能な取組に変えていこうという建設的な意見も出ています。

同じ時に同じ場で同じ光景を経験した記憶は，共有の思い出となります。そしてそれを語り続けていくことでそれぞれの心もつながり続けます。60周年という区切りの時と場を一緒に経験する子供たちが，紫原小学校の折々の節目を共に盛り上げ，将来「ふるさと」を大切にする大人になってくれることでしょう。

今後60周年事業を実施するにあたっては，多くの方々の協力が必要となってきます。御協力よろしくお願いいたします。

40年後の100周年の時には，今の1年生が47歳になります。もしかしたら誰かが100周年記念式典や記念事業の中心となってくれているのではないかと，今から楽しみです。